

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆実質賃金、秋にマイナスの可能性 迫る食品値上げと電気代補助終了

・物価変動の影響を除いた実質賃金が7カ月連続で前年同月を上回った。春季労使交渉による高水準の賃上げや夏のボーナス増で名目賃金が伸びた。秋以降は飲食料品の相次ぐ値上げや電気・ガス代の上昇が見込まれ、実質賃金は再びマイナスに転じる可能性。厚生労働省が発表した毎月勤労統計調査によると、7月の実質賃金は前年同月から2.4%増。

◆電子カルテ、今冬にも病院間共有 過去の検査や投薬情報を診療に活用

・厚生労働省は今冬にも、電子カルテに盛り込まれた患者の傷病名、アレルギー、検査結果、処方薬などの情報を全国の医療機関で共有できるようにする。他の病院で実施した検査を参考に診療の質を高めたり、検査の重複をなくしたりする取り組みに生かす。本格運用されれば、紹介状や退院時の文書、健康診断結果を他の医療機関などが閲覧できる。

◆中小企業融資の公的保証、上限2.8億→10億円 M&Aや設備投資促す

・経済産業省は中小企業融資を公的な保証人が後押しする信用保証の拡大を検討。大企業に比べて経営基盤の弱い中小は単独での資金調達が難しい。上限を現在の2.8億円から10億円程度とする方向。日本経済の成長力の底上げに向けて、幅広い企業に大型の設備投資やM&A(合併・買収)を促す。2027年の通常国会への関連法改正案の提出をめざす。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン、AIが「エアコン点検の先生」に 首掛け型端末応用し27年導入

・ダイキン工業はエアコンの点検作業を支援するAIを開発。熟練のエンジニアが担ってきた若手作業員の指導をAIが代替し、人手不足に対応。世界的な猛暑で空調需要が拡大するなか、2027年夏に現場への導入を目指す。出資する東京大学発のスタートアップ・フェアリーデバイスズ(と共同で、自律的に業務をこなすAIエージェントを開発。

◆フラット35、中古住宅購入の子育て世帯優遇を拡充 27年度にも

・国土交通省は長期固定金利型の住宅ローン「フラット35」で中古住宅を購入する子育て世帯向けに金利を引き下げる。物価や住宅ローン金利が上昇するなか、手が届きやすく良質な中古住宅の流通を促す。2027年度予算の概算要求に金利引き下げ分の原資として290億円を盛り込んだ。

◆家電量販5社、8月は2社減収 OS更新特需の反動でPC販売低調

・ヤマダホールディングスなど家電量販5社の8月の売上高(全店ベース)が出そろった。3社が前年同月比でプラスだった一方、2社が減収となった。2025年秋の基本ソフト(OS)更新に伴う駆け込み需要の反動でパソコン(PC)の販売が落ち込んだ。ヤマダHDの全店売上高は2.5%減、ケーズHDは0.5%減だった。

《 注目商品 》

■エクソル、テスラ製「パワーウォール3」の販売を開始

・エクソルはテスラの住宅用ハイブリッド型蓄電池「Powerwall3」の取り扱いを開始。パワーコンディショナ内蔵のシンプルなシステム構成と、13.5kWhの蓄電容量、最大9.69kWの高出力が特徴。太陽光発電システムと組み合わせることで、停電時に宅内に電力を供給。



■LIXIL、防犯カメラ「スマート見守りカメラ」

・住宅に調和する高いデザイン性と防犯性を両立した防犯カメラ「スマート見守りカメラ」を発売。「カーポートSC」など人気のカーポートに馴染むデザイン性の高い防犯カメラ。スマホから、いつでもどこでもカメラの確認・操作が可能。カラーナイトビジョンで夜間でも鮮明に記録。



■永大産業、薄型リフォーム用上貼りフロア

・既設の床に上から貼るだけで施工できる薄型リフォーム用上貼りフロア。工期短縮や施工時の騒音・粉塵を抑制し、廃材削減とコスト低減を可能にした。厚さが1.8mmと薄型のため、サッシ枠との段差や建具下部などの干渉を抑え、納まりの良い仕上がりを実現。

